

令和4年11月9日（水）に開催した令和4年度第8回公立大学法人静岡文化芸術大学役員会の結果は次のとおりである。

1 議案

(1) 専任教員の採用について

ア 趣旨

事務局から、5月11日の役員会で承認された文化政策学部2名（分野：文化人類学、文化政策と法）、デザイン学部1名（分野：パッケージデザイン）の専任教員公募の採用候補者を選考する面接を実施し、各分野1名、計3名の候補者が決定したので、その採用について意見を求める旨、各候補者の応募書類をもとに説明があった。

イ 主な意見・質問

・研究業績と本学が求める教育指導内容との関連について意見交換があった。

ウ 審議結果

審議を踏まえ、1人目及び2人目の候補者は准教授として決定し、3人目の候補者については、今回は採用を見送る旨議決された。

(2) 非常勤講師の委嘱について

ア 趣旨

事務局から、「ポルトガル語コミュニケーションⅠB」や教職科目の「漢文学Ⅰ」など計9科目を来年度担当する非常勤講師について、現在の非常勤講師が委嘱終了となることから、新たに5名を委嘱する旨の説明があった。

イ 主な意見・質問

特になし

ウ 審議結果

審議を踏まえ、議決された。

2 報告事項

(1) 静岡文化芸術大学 節電行動計画

事務局から、本学が契約していた電力会社の破綻、燃料価格の高騰等による今年度の電気料金が大幅な上昇に対応するため、学内で「節電行動計画」を策定し、過去3年間（コロナ感染症の影響が大きいR2年度は除く）の平均値より、「使用電気量を10%削減」することを目標に、教職員、学生に対し節電への協力を呼び掛けるとともに、県に対しても財政措置等を要求していることについて報告された。

(2) 令和4年度研究成果発表会の開催結果について

事務局から、教員特別研究費を活用した研究成果を、地域や学生に広く還元するため、12月1日（木）に研究成果発表会を開催することが報告された。

以上